国本工業株式会社

所在地：浜松市　創業：昭和45年　資本金：2,000万円　従業員数：86人（男性：72名、女性：14名）　平均年齢36.6歳　業種：製造業（自動車部品の製造、金型の設計・製作等）

◆パートナーシップで顧客の競争力強化や品質向上に取り組むとともに、新しいアイディアや新商品の積極的な提案が世界初の新技術の開発につながった。

・顧客の困り事を解決するために、新しいアイディア、新商品の提案を積極的に行い、顧客の市場競争力や、品質を自分たちも一緒に創りこむ意識が世界初の新技術の開発につながった。

取組前（きっかけ）

海外進出せず国内に留まったことで廃業も覚悟したが、そうした中で2輪から4輪への挑戦

- ✓ 海外進出できず国内に留まったことで2輪部品の受注が激減し、従業員は100人から20人へ減少した。廃業も覚悟する中、最後の挑戦として4輪部品への製造に舵を切った。
- ✓ 当初は2輪と4輪の文化が違うことも理解しておらず、4輪の要求品質（同じ品質のものを同じように出せるのか。）を如何に定着させるかが課題であった。

取組後（効果）

製造ラインの進化により更なる高付加価値化を実現

- ✓ 生産ラインや金型を自社製品とすることで、生産ラインを進化させ、人の作業時間の短縮化し、その時間を使って一人当たり月20時間を超える社員研修を行い、知識を高めてもらい、改善を行う好循環を実現。
- ✓ 平成21年7月：第3回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞受賞。
- ✓ 平成29年3月：第１回「働きやすく生産性の高い企業・職場」奨励賞受賞（厚生労働省）。
- ✓ 平成29年12月：経済産業省　地域未来牽引企業に選定。

取組内容や仕組み

産・官・学連携の枠組みを有効活用

- ✓ 「地域新生コンソーシアム研究開発事業」への参加をきっかけに、加工データの収集及びその活用方法を理解し、ベテランの経験と融合させ、技術を標準化した。その結果、最適な設備や金型を作れるようになった。

新しい工法の開発

- ✓ 技術が標準化された事により、新工法が次々に生まれた。
- ✓ 例えば、世界初のプレス金型による極小曲げ工法。
  限界を超えた拡管や縮管の工法。
  常識ではありえない潰し成形加工。
  通常切削が必要な精度をプレス加工によって実現。等
- ✓ これらの工程工法は、自社製の設備開発につながり、更に高度に自動化され、従業員の仕事がこれまでの製品を「作る」から、ロボットに製品を作らせそれを「管理する」仕事へ変わっていった。

提案型企業へ

- ✓ お客様に対して従来のやり方にとらわれず機能と品質を満たす最適なやり方の提案をすることを意識し、結果としてコストや重量の削減等でお客様を満足させることができた。